

# JJAOT

The Journal of Japanese Association of Occupational Therapists (JJAOT)

# 日本作業療法士協会誌

2019

11

## 【協会諸規程】

- 賛助会員規程（一部改定）

## 【協会活動資料】

- 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会について
- 臨床実習指導者講習会の生涯教育制度への統合について

## 重要なお知らせ

表紙ウラ、p.4～7、25に必ずお目通しください



一般社団法人

日本作業療法士協会

重要

## 2019年度に入会した皆さまへ

### 付帯情報登録のお願い

この度は当協会に入会いただき心より感謝申し上げます。

入会手続きが完了し協会員となった皆様に、次の段階の登録をお願いいたします。この点につきましては、すでに入会手続き完了時にメールもしくは書面にてご案内しております。

入会手続きの際に基本情報（協会からのご案内や連絡を行うための住所やメールアドレス等の情報）を登録いただきましたが、次の段階として**付帯情報の登録**をお願いいたします。

付帯情報は、作業療法士の勤務実態を集計し、国や他団体へ要望活動を行う際の根拠資料や、協会の活動方針を決める指針となる資料の作成に必須の情報となります。会員統計資料は毎年、本誌『日本作業療法士協会誌』（2017年度会員統計資料は本誌第79号（2018年10月発行）p.12～）に掲載しておりますので、協会ホームページ等で是非ご確認ください。

登録にあたっては、下記の手順をご確認ください。

**【登録方法について】** ※登録内容に問題があると、エラー内容が表示されます。

- ①日本作業療法士協会ホームページ→会員向け情報→会員ポータルサイト
- ②会員ポータルサイトにログインし、「基本情報変更」をクリック  
※パスワードが不明の場合、もしくは入力してもログインできない場合は、「パスワードを忘れた方はこちら」から仮パスワードを申請してください。
- ③基本情報変更→会員情報の閲覧・更新
- ④「個人情報」をクリックし、登録済みの情報の確認と、「必須」と書かれた項目で未入力部分をを入力し、一番下の「送信」をクリック  
※現在作業療法士として勤務されておらず勤務施設の登録がない方は、⑥に進む
- ⑤「勤務先」をクリックし、登録済みの情報の確認と、「必須」と書かれた項目で未入力部分をを入力し、一番下の「送信」をクリック
- ⑥会員情報の確認および登録は完了。  
※作業療法士として勤務している方は、「勤務先」ページも登録が必ず必要です。  
※登録方法にご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

**会員情報の登録および確認は、入会完了より1ヵ月以内にお済ませください。**

**情報が登録されませんと、登録情報不備により統計情報委員会が実施する調査の対象となります。**

一般社団法人日本作業療法士協会  
事務局長 香山 明美  
会員管理 霜田・費田  
E-mail : kaiinkanri@jaot.or.jp

## 台風 19 号等豪雨の被災地の皆様に 心よりお見舞い申し上げます

10月12日に日本に上陸した台風19号をはじめとする度重なる豪雨は、河川の決壊・氾濫、土砂崩れ等を引き起こし、多数の死者・行方不明者・負傷者を出し、家屋・家財・産業・地域生活に甚大な被害をもたらしました。その後、ライフライン、インフラの復旧が進められてきたものの、復興にはほど遠く、住まいや環境、仕事や学校など日々の暮らしがままならないなかで、被災地の皆様の心中はいかばかりかと心が痛みます。衷心よりお見舞いを申し上げます。

日本作業療法士協会は10月15日に災害対策本部を立ち上げ、被災した各都県の作業療法士会と連絡をとりながら、被災状況とニーズの把握に努め、作業療法士としての有効な支援の方策を模索しております。

また、被災した会員に対しては、「大規模災害を被った都道府県における作業療法士会の支援に関する規程」第2条2号に基づき、会費免除申請の受け付け、生涯教育制度に関する各種支援策（生涯教育手帳の再発行、受講履歴の復元、各種有効期限の延長など）を講じています。

2019年10月

一般社団法人 日本作業療法士協会  
会長 中村 春基

# 台風 19 号等豪雨災害に対する協会の対応について

(2019 年 10 月 31 日現在)

- ・ 10 月 15 日 (9:00) 中村会長の専決により災害対策室を設置した。  
被災都県 (17 都県:青森、岩手、宮城、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡、三重) にお見舞いメールを発信し、協会ホームページお見舞い文を掲載。  
機関誌『日本作業療法士協会誌』2019 年 11 月号への掲載準備。  
災害対策関連の基本指針・諸規程に則り、士会に対する必要な支援を行っていくとともに、会費免除の受け付け等の対応も開始する。
- ・ 10 月 15 日 (17:00) 中村本部長の専決により下記を決裁した。
  - ① 災害対策本部からの第 1 報として、会費免除申請の受け付け、生涯教育制度における対応について、協会ホームページに掲載。
  - ② 教育部より、下記項目について状況把握をするために、被災都県の養成校に対してメールによる調査を実施したい旨の提案があり、教育部へ実施を指示。
- ・ 10 月 17 日 (11:00) 教育部養成教育委員会より養成校に向けて実態把握のためのメールの配信をした。
  - (1) 養成校関係 ・ 物的な被災 (養成校の建物・物品) ・ 人的な被災 (教職員・学生)
  - (2) 臨床実習学生・物的な被災 (寄宿先の建物・物品) ・ 人的な被災 (学生本人)
- ・ 10 月 19 日 2019 年度第 5 回定例理事会にて都道府県作業療法士会から 18 日までに災害対策室に寄せられた被害状況等を報告。

各都道府県士会の活動については、今後の活動状況に応じて掲載をする予定である。

# JJAOT

## 日本作業療法士協会誌

# CONTENTS

The Journal of Japanese Association of Occupational Therapists (JJAOT)

目次 ● 2019年11月15日発行 第92号

- 8 **● 協会諸規程**  
・賛助会員規程（一部改定）
- 9 **● 協会活動資料**  
・厚生労働省指定臨床実習指導者講習会について  
・臨床実習指導者講習会の生涯教育制度への統合について
- 4 **事務局からのお知らせ**
- 5 **会員情報の閲覧・更新方法**
- 6 **重要** **作業療法士の職域や社会的地位の向上のために、正しい情報が必要です**
- 25 **『研修受講カード』お手元にありますか？**

- 2 **会議録** 2019年度第5回定例理事会抄録
- 3 **協会各部署活動報告**（2019年9月期）

- 12 **MTDLP実施・活用・推進のための情報ターミナル⑭**  
●次の扉を開く！ 啓発・普及から定着・展開へ
- 14 **総合事業5分間講読**  
●高齢者のQOL向上を支援する！
- 16 **国際部 Information**  
●2019年度重点課題研修『グローバル活動セミナー』開催決定
- 17 **窓**～女性の協会活動参画促進のために～  
●私なりの“いい調子”

- 18 札幌刑務支所見学会報告
- 19 第5回「児童福祉領域における作業療法」意見交換会
- 20 2019年度協会主催研修会案内
- 22 がんの緩和ケアに関わるリハビリテーション専門職研修会
- 24 在宅リハビリテーション従事者研修会
- 26 協会刊行物・配布資料一覧
- 27 協会刊行物・配布資料注文書
- 28 日本作業療法士連盟だより
- 29 求人広告
- 30 編集後記



日 時：2019年10月19日（土）13：02～17：46

場 所：一般社団法人日本作業療法士協会事務所 10階会議室

出 席：中村（会長）、香山、山本（副会長）、宇田、大庭、酒井、佐藤、清水、藤井、村井（常務理事）、池田、岩佐、岡本、梶原、小林、関本、高島、谷、谷川（理事）、太田、長尾（監事）

陪 席：岩上（財務担当）、安藤（辻・本郷税理士法人）、宮井（事務長）

黙禱

台風19号等豪雨災害で亡くなられた方々のご冥福、甚大な被害を受けた方々の一日も早い復興を祈念して黙禱した。

I. 報告事項

1. 議事録

- 1) 2019年度第4回定例理事会（8月17日）書面報告。
- 2) 2019年度第2回定例常務理事会（9月21日）書面報告。

2. 会長専決事項

- 1) 会員の入退会について 書面報告。

3. 財務関連

- 1) 2020年度予算申請状況について（岡本理事）収支総差額はマイナス1,658万8,000円。さらに会議費、旅費等削減をお願いする。
- 2) 2020年度予算申請にかかるヒアリング（11月2日）のタイムスケジュールについて（香山副会長・事務局長）
- 3) 2019年度8月期の収支状況について（岡本理事）

4. 制度対策関連

- 1) かかりつけ医に対するリハビリテーション研修で活用する事例の提供について（村井常務理事）日本医師会のリハビリテーション研修に事例を要望されたので提供する。
- 2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに寄与する作業療法のあり方検討委員会の今後のタイムスケジュールについて（村井常務理事）報告書を取りまとめ、教育部、学術部と連携し、会員への普及を図りたい。
- 3) 全国リハビリテーション医療関連団体協議会：2020年度診療報酬改定要望書（高島理事）当協会の要望に関する報告。
- 4) 札幌刑務支所見学会について 書面報告。
- 5) 第1回精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに寄与する作業療法のあり方検討委員会（村井常務理事）10月2日にあり方検討会を開催し、外部委員の意見をいただいた。
- 6) 第7回一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会の対応について（村井常務理事）厚労省の検討会において作業療法のプレゼンテーションを行う予定。

5. 広報関連

- 1) 協会ホームページにおける他団体の催し物企画案内等の掲載について（香山副会長・事務局長）掲載基準を定めた。
- 2) 協会Webサイトのアクセスログ（2019年8・9月期）書面報告。

6. 国際関連（大庭常務理事・国際部長）

- 1) APOTRG Executive Management Team Meeting via Zoom 来年11月18～20日、APOTCの学会がマニラで行われる。2024年は日本が立候補する予定。
- 2) WFOT大会周期の検討について 4年周期のWFOT大会を2年周期にしたいという提案がある。他の国際会議と重なる可能性もあり注視していく。
- 3) APOTC2020開催とWFOT大会周期について 書面報告。
- 4) 第2回日台シンポジウム2019、学会時ビジネスミーティング及び施設見学について 約200名の参加があり、充実した内容であった。
- 5) CAREhab Exhibition & Conference 招待メールについて 書面報告。
- 6) 第1回アジアOT協会交流会について 東アジアを中心とした各国OT協会の情報共有・交流を図っていく。事務局はJAOTが担当する。
- 7) 福岡学会におけるモンゴル招待者に関する報告 モンゴルは来年WFOTに加盟する予定。来年開催の第1回モンゴルOT学会に中村会長が招待された。
- 8) 福岡学会国際部ブースに関する報告 韓国からの参加者が多く盛況であった。

7. 災害対策関連

- 1) 台風19号への対応について（中村会長）協会内に地域JRAT支援本部を設置した。（香山副会長・事務局長）被災17士会に見舞い文を送り、会員の安否と被災状況を収集。活動資金を準備する用意がある。（藤井常務理事・教育部長）10月12日の認定作業療法士取得研修会を中止。代替研修会を2月1日・2日に開催予定。
- 2) 大規模災害を想定したシミュレーション訓練の実施について（清

水常務理事・災害対策室長）9月25日に避難訓練を実施し44士会が参加。今回の広域災害の経験から、今後、協会と士会の役割を検討したい。

8. 特設委員会関連

- 1) 認知症の人の生活支援推進委員会の活動報告（村井常務理事）「認知症作業療法の手引き（改訂版）」が完成。11月9・10日に認知症作業療法推進会議を開催する。

9. 活動報告等

- 1) 会長及び業務執行理事の2019年8・9月期活動報告 書面報告。
- 2) 協会各部署の2019年8・9月期活動報告 書面報告。
- 3) 渉外活動報告（高島理事）日本作業療法学生連盟の研修会に協力する。（村井常務理事）日本認知症官民協議会バリアフリーWGで資料提供。社会保障審議会ICF委員会ワーキングに参加。教育部・学術部と連携して作業療法を積極的にPRしたい。（中村会長）一般社団法人日本公認心理師協会が設立された。
- 4) 他職種・団体等の協会代表委員について 書面報告。
- 5) 日本作業療法士連盟活動報告（8・9月分）書面報告。
- 6) リハ専門職団体協議会：訪問リハビリテーション振興委員会班長会議報告 書面報告。
- 7) 訪問リハビリテーション振興財団の動き（谷理事）訪問看護ステーションを開設することになった。看護職員の紹介など、協力していただきたい。

10. その他

- 1) 作業療法士国家試験合格者の大学別・専門学校別入会状況（2018・2019年度）書面報告。

II. 審議事項

- 1. 2020年度重点活動項目（案）について（香山副会長・事務局長）前回の8月理事会、またその後理事からいただいた意見を踏まえて修正案を作成した。  
→ 本日提出された意見をもとに一部修正することを前提として承認
- 2. 地域包括ケアシステム推進委員会の活動期間1年延長について（佐藤常務理事）協会組織再編に伴い、移行期間となる2020年度の1年間、委員会活動を継続したい。 → 承認
- 3. 今後の協会組織のあり方について（常務理事会での議論のまとめ）制度対策部、地域包括ケアシステム推進委員会、広報部、国際部、災害対策室、事務局（総務部）の現状、課題、組織再編に向けての方向性などが説明され、議論された。
- 4. 学会展示ブースの設置・撤去費用について（清水常務理事・学術副部長）賛助会員からも設置・撤去費用を請求したい。 → 承認
- 5. 賛助会員規程の改定について（香山副会長・事務局長）審議事項4の承認を受け、賛助会員の特典に関する規定の一部変更。  
→ 承認
- 6. 「作業療法教育ガイドライン」について（藤井常務理事・学術部長）「作業療法教育ガイドライン2018」と「作業療法士養成教育モデル・コア・カリキュラム」を合本して発行したい。 → 承認
- 7. 専門作業療法士の論理的分野特定について（藤井常務理事・学術部長）専門分野の類型に「すそ野が広く社会的認知度の高い分野」を新たに加え、分野特定を進めたい。 → 承認  
かかる類型として、まず脳血管障害分野の専門作業療法士制度をつくりたい。 → 継続審議
- 8. 作業療法学会全書改訂第4版：巻構成及び目次（案）の修正について（藤井常務理事・教育部長）平成27年度第10回理事会において全書の巻立て（案）が承認されたが、その後一部巻立て等に修正の必要が生じた。 → 承認
- 9. タスク・シフト/シェアに関する当協会の提案事項について（山本副会長）医師のタスク・シフト/シェアに関する経過と、当協会からの提案事項について説明された。
- 10. ホームページ委託業者の選定について（香山副会長・広報部長）見積書の内容構成、営業の対応、費用面から総合的に判断して一社を選定したい。 → 承認
- 11. 事務局職員の副業・兼業について（香山副会長・事務局長）「副業」と「兼業」に制度上の違いがないことを確認。手続や諸様式について整備したい。 → 承認
- 12. 会員の処分について（香山副会長・倫理委員長）暴行被疑事件を起こした会員を戒告処分することを提案する。 → 承認
- 13. その他

# 協会各部署 活動報告

## (2019年9月期)

### 学術部

【学術委員会】次年度予算作成。事例報告登録制度（一般事例、MTDLP事例）の運営と管理。事例報告登録班によるWEB会議開催。疾患別ガイドラインの編集。作業療法マニュアルの編集。組織的学術研究体制の検討。

【学術誌編集委員会】次年度予算作成。学術誌『作業療法』：編集会議開催。査読管理および編集作業。査読システムの検討。学術誌『Asian Journal of OT』：査読管理および編集作業。

【学会運営委員会】次年度予算作成。第53回日本作業療法学会（福岡）開催。第54回日本作業療法学会（新潟）：ポスター作成。ホームページ公開。収支検討。

### 教育部

【本部】2020年度予算申請書の作成。教育部組織再構築に向けた意見交換。

【養成教育委員会】臨床実習指導者講習会（群馬会場）の運営。県士会からの臨床実習指導者講習会申請書類の確認業務。「作業療法教育ガイドライン」の完成版の作成。MTDLP推進協力校の審査。厚生労働省訪問、他。

【生涯教育委員会】専門作業療法士の論理的な分野特定および新規分野特定について三役会出席。システム開発会議の開催。認定作業療法士取得者へのアンケート集計。活動実績が不明なSIG等の調査、他。

【研修運営委員会】2019年度専門作業療法士取得および認定作業療法士取得研修会。重点課題研修等の開催および準備。e-Learningコンテンツ作成検討、他。

【教育関連審査委員会】WFOT認定等教育水準審査班：班会議の開催、リハビリテーション評価機構との連携作業、JCORE書面調査（WFOT審査兼）の実施、実地調査の日程調整。専門作業療法士審査班：2019年度審査に向けた準備。認定作業療法士審査班：2019年度第2回審査会（10月26日）に向けた準備。臨床実習審査班：2019年度第2回審査会（10月19日）に向けた準備。資格試験班：認定作業療法士取得選択研修の修了試験問題・認定作業療法士資格認定審査（試験）の試験問題の作成、他。

【作業療法学全書編集委員会】原稿執筆中、他。

### 制度対策部

【本部】担当理事で、①「精神障害にも対応する地域包括ケアシステムに寄与する作業療法のあり方検討委員会」協会員推進WGの開催、②今後の渉外活動に関する検討、③認知症大綱に対応する取組内容の協議、④札幌刑務支所見学会（9月20日）を行った。

【医療保険対策委員会・介護保険対策委員会】①診療報酬・介護報酬情報のホームページ更新。②会員からの制度に関する問い合わせ対応。③医療保険身体障害分野モニター調査実施。④介護保険に係る要望と対応の検討。

【障害保健福祉対策委員会】①「自立訓練（機能訓練・生活訓練）事業における作業療法士の関与実態調査」実施。②「障害保健福祉領域OTカンファレンス in 伊予」開催（9月28日、愛媛）。③日本作業療法学会（9月7日）、特殊教育学会（9月21日）において会員・他職種向け活動の周知。④「学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会（基礎編）」後方支援（9月21～22日、長野）。⑤「学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会（実践編）」プログラム試行検討。⑥「就労支援フォーラム2019」企画・運営にかかる準備。

【福祉用具対策委員会】①「生活行為工夫情報モデル事業」：新規参画士向け会議開催、事例登録、事例活用に向けた準備。②「福祉用具相談支援システム運用事業」：相談対応等。③「IT機器レンタル事業」：レンタル受付手配。④国際福祉機器展：福祉機器相談コーナー対応。

### 広報部

【広報委員会】＜ホームページ＞2020年度委託業者選定検討。校正作業。ホームページトップページ『お知らせ&Topics』掲載内容広報部方針を検討。＜パンフレット＞特別支援・発達障害児パンフレット検討、協会員案内の改訂および英語版作成作業。＜その他＞2021年に向けた組織改編について検討。2020年重点課題項目、2020年事業計画を検討し、予算申請書提出。

【機関誌編集委員会】機関誌9月号発行、10月号校了。11月以降の掲載記事・進行等確認。

### 国際部

【国際委員会】国際部会議（部長委員長会議8月17日）。2020年以降の国際部体制について検討。福岡学会における国際シンポジウム・国際部ブース展示の準備・期間中の運営。「アジアの作業療法士会の交流会（仮）」の傍聴希望者の募集および各国代表者との連絡調整、同交流会の資料・進行準備および当日開催運営、議事録・参加国共有資料作成。第2回日本-台湾作業療法学ジョイントシンポジウムの広報活動、資料・進行準備および当日開催運営。日台ビジネスミーティングの調整および当日開催運営。台湾作業療法士協会による施設見学実施。日台ジョイントシンポジウム・日台ビジネスミーティング・施設見学の報告書作成。福岡学会韓国学生団体の団体登録への対応。福岡学会国際パーティの運営準備・開催。新潟学会における国際シンポジウムの準備。海外研修の支援体制についての学術部と教育部との協議検討。教育部グローバル活動セミナーへの協力。機関誌の「国際部 INFORMATION」の企画・執筆。

APOTC誘致委員会との情報共有・意見交換。2020年度活動内容検討。2020年度予算案作成。

【WFOT委員会】WFOTからの連絡への対応。福岡学会におけるWFOTとのミーティング、およびWFOTメンバー各国とのWFOT大会に関する意見交換。APOTC2020フィリピンの開催告知（ホームページ）。2020年度予算案作成。

### 災害対策室

台風15号による被害に対して千葉県士会への支援対応。大規模災害を想定したシミュレーション訓練（9月25日）の実施。国際医療技術財団（JIMTEF）への活動協力。大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）活動への協力。災害支援ボランティア登録の随時受付。

### 47都道府県委員会

各ワーキンググループにて委員会に向けた検討、関連部署との調整。

### 認知症の人の生活支援推進委員会

認知症作業療法推進委員からの問い合わせ対応。手引きおよびアセスメントの改訂作業。認知症OT作業療法推進委員会議（11月9～10日）開催に向けての準備。認知症大綱に対応する取組内容の協議協力。

### 地域包括ケアシステム推進委員会

各士会で予定されている研修会への講師派遣対応。委員によるエリアごとの士会支援、連絡調整。次年度以降の委員会のあり方に関する検討、三役会・常務理事会等で協議。

### 運転と作業療法委員会

士会協力者への個別問合せ対応と情報配信。2019年度協力者会議開始に向けた準備。重点課題研修（仙台）の開催協力。運転支援に関する実態調査の実施。定例会議の開催（9月20日）。士会支援事業（先駆的施設見学）のマッチング調整。

### アジア太平洋作業療法学会誘致委員会

誘致に伴う運営委託業者の選定準備（仕様書）。業者へのコンペティション参加依頼。業者からの質問対応。国際部・学会運営委員会・協会財務との情報共有・意見交換。2020年度予算案作成。

### 障害のある人のスポーツ参加支援推進委員会

都道府県士会を対象としたウェブアンケート調査の回収・分析。協会員を対象としたウェブアンケート調査の実施・回収・分析。機関誌の企画・執筆。第2回委員会の開催（9月16日）。機関誌原稿（10月号）の執筆。2020年度活動計画検討および予算案作成。

### 事務局

【財務・会計】2019年度会費収納。2020年度予算申請書の取りまとめ。マイナンバー関連業務。2020年度会費の振込用紙、ペーパーレス決裁の準備。

【会員管理】第53回日本作業療法学会における協会ブースでの対応。会員の入退会・異動等に関する処理・管理。新入会希望者への振込用紙発送。海外会員への発送。刊行物の戻り処理。パスワード再発行に関する対応。研修受講カードの有料再発行に関する対応。士会員情報と協会員情報のデータ照合作業。

【総務】三役会・常務理事会の資料作成・開催補助・議事録作成。会長のスケジュール調整・管理、依頼案件への対応。新コンピュータシステム2次開発にかかる業者との打ち合わせ（継続）。過去の事務局（総務部）体制についての検討・常務理事会への上程。事務局サーバとPC入れ替えにかかる業者との打合せ。2019年度介護ロボットのニーズ・シーズ連携協議会全国設置・運営業務事業の事務局業務。人材派遣会社との派遣スタッフに関する調整協議。

【企画調整委員会】2020年度重点活動項目について意見募集および修正案の作成。

【規約委員会】個人情報保護規程の改定に関する検討開始。

【統計情報委員会】統計情報委員会の開催（9月14日）。会員データの整理。

【福利厚生委員会】第53回学会における「女性会員の広場」ブース出展。待遇調査報告の機関誌原稿の検討・作成。女性相談窓口による相談対応。

【表彰委員会】名誉会員表彰・会長表彰の対象候補者の抽出。都道府県士会・協合理事宛に特別表彰候補者の推薦依頼を发出。

【選挙管理委員会】代議員選挙の公示をホームページ・機関誌に掲載。立候補届の受付。

【倫理委員会】倫理問題事案への対応に関して顧問弁護士と相談。倫理委員会の開催（9月21日）を経て会長に上申、調査委員会の設置。その他会員・非会員から寄せられた倫理問題事案への対応。

【生活行為向上マネジメント士会連携支援室】機関誌に掲載するMTDLP関連情報の検討・原稿作成。「事例で学ぶ生活行為向上マネジメント」改訂に向けた準備作業。

【国内外関係団体との連絡調整】日本作業療法士連盟との合同三役会（9月14日）、転貸契約の変更書書の作成。厚生労働省、法務省、リハビリテーション専門職団体協議会（リハ3団体）、全国リハビリテーション医療関連団体協議会・報酬対策委員会、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）、チーム医療推進協議会等々との連絡調整・会議参加・事務局運営など（継続）。

## 事務局からのお知らせ

### ◎休会に関するご案内

現在は2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)の休会を受付中です。2020年度の休会を申請する方は下記をご確認のうえ、申請用紙を事務局までご請求ください。

**【申請条件】** 2019年度の会費を完納しており且つこれまでの休会取得回数が4回以下であること

**【必要書類】** 協会所定の休会届と休会理由証明書類\*

**【提出期限】** 2020年1月31日(必着)までに協会へ郵送

※休会理由の根拠となる、第三者による証明書

○出産・育児…出産を証明する母子手帳の写しなど

○介護…要介護状態を証明する書類の写しなど

○長期の病気療養…医師の診断書の写しなど

もし、証明書のご提出が上記の提出期限に間に合わない場合は、まず「休会届」だけ先に提出してください。その際、協会事務局にご一報いただき、いつまでに証明書の提出が可能かをお知らせください(遅くとも休会期間中の2021年1月31日までに証明書をご提出ください)。

### ◎退会に関するご案内

2019年度をもって任意退会を希望される方は下記をご確認のうえ、退会届の様式を事務局までご請求ください。

**【申請条件】** 2019年度の会費を完納していること

**【必要書類】** 協会所定の退会届

**【提出期限】** 2020年3月31日(必着)までに協会へ郵送

### ◎ WFOT (世界作業療法士連盟) 個人会員の入会・退会について

WFOT(世界作業療法士連盟)個人会員の入会・退会手続きは、協会が代行しています。

WFOTの事業年度が1月1日開始であり、それに間に合うよう手続きを行う必要があるため、入会・退会を希望される場合は11月30日までに協会事務局までご連絡をお願いいたします。

### ◎ご自身の登録情報が最新かどうかをご確認ください!

協会に登録している勤務施設は現在の職場でしょうか。協会より会員所属施設宛に郵送物等をお送りすると、既に退職済みとのことで返送されてくる場合があります。また、発送先を自宅宛とご指定いただいている場合、勤務施設に関する情報が更新されず、古い勤務施設の登録が残ったままになっている場合があります。協会にご登録いただいている施設にその会員が所属しているものと判断しますので、ご自身の登録している勤務施設情報が最新であるかどうかを確認し、もし古い情報のままでしたら修正・更新をお願いいたします。

#### 【登録情報の確認方法】

協会ホームページより、会員ポータルサイトにログインし「基本情報変更」で登録情報の確認・修正が可能です。

※パスワードをお持ちでない方、忘失された方はパスワードを再発行することができます(協会ホームページ>会員ポータルサイト>パスワードを忘れた方はこちら)。

### ◎ 2019年度会費をまだご納入いただけていない皆様へハガキをお送りしました

9月末までに2019年度会費をご納入いただけなかった方へ協会事務局より「会費納入のお願い」ハガキをお送りしています。このまま年度末(2020年3月末)までに年会費のお支払がありませんと会員資格を喪失し、現在の会員番号は使用できなくなり、なおかつ協会在籍履歴、生涯教育受講履歴もすべて抹消されます。また協会に再入会を希望される際は複雑な手続きが必要になりますので、そうならないためにも、早めに会費の納入をお願いいたします。

なお、金額が不明な方は協会事務局(kaihi@jaot.or.jp)までお問い合わせください。

# 会員情報の閲覧・更新方法

## ログイン画面の入り口



・日本作業療法士協会ホームページ>上部「会員ポータルサイト」  
もしくは、

・日本作業療法士協会ホームページ>上部「会員向け情報」>「会員ポータルサイト」

上記の手順でログイン画面にアクセスできます

## ログイン画面



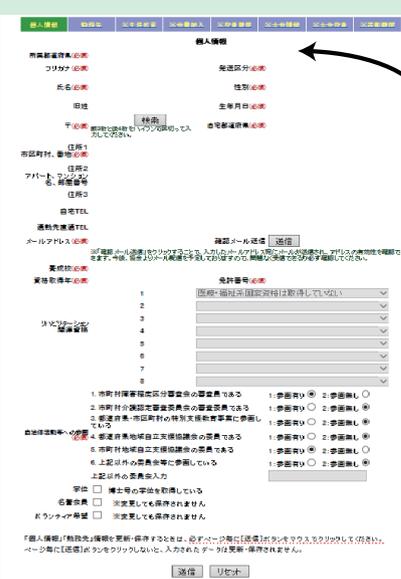
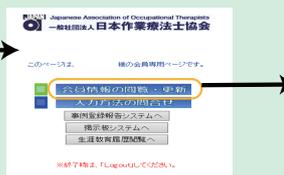
←会員番号とパスワードを入力し、「ログイン」をクリック

パスワードが不明の場合は・・・→



「パスワード再発行」画面から申請できます。申請には2018年度電子会員証もしくは研修受講カードが必要です。

## 会員ポータルサイト マイページ→基本情報変更



←「個人情報」「勤務情報」→

各ページを開き、登録されている情報に不備がないか(赤くなっている項目)、最新の情報が登録されているか確認し、更新します。

※ページを移動するときは必ず「送信」をクリックしてください。



会員ポータルサイト  
マイページに  
戻ります



作成：2018年4月

※一部改修により画面に変更が生じている場合がございます。

**重要**

作業療法士の職域や社会的地位の向上のために、正しい情報が必要です

正しい情報の更新と確認がされていないと…

その  
1

年次統計資料・アンケート調査の信憑性と価値が低下してしまいます。

その  
2

国や他団体への要望を行う際の根拠を示すことができなくなります。

その  
3

宛先が不明となり、作業療法に関する協会からの情報を、お届けできなくなります。

会員情報が常に最新の状態であるために、  
登録情報の更新が必須です。

# 日本作業療法士協会が集積・管理・活用している 情報と、その更新と確認について

## 会員情報

会員の方によって常時更新される情報

### 基本情報

更新

#### 自宅住所・勤務施設

(自宅住所や勤務施設は、協会から送られてくる郵送物の宛名などをご確認ください。)

固定情報

#### 生年月日・OT免許番号・免許取得年・出身校

### 付帯情報

更新

#### 勤務施設での業務内容

- ・集積した情報を統計情報として集計し、作業療法士の配置状況等について会員統計資料(年次資料)として公開したり、国や他団体への要望を行う際の根拠資料として提示するなどの利用を行っている。
- ・常に統計情報として集計ができるため、月別や必要時の情報として統計資料を作成することも可能。

### その他の情報

定期的に事務局で更新

#### 年会費納入状況、会員履歴(役員履歴など)

## 施設・養成校情報

施設情報責任者によって常時更新される情報

- ・会員情報において、その施設を勤務施設として登録している会員の中から1名施設情報責任者を選任し、施設情報責任者がその施設の情報について閲覧・修正登録を行う。
- ・施設情報責任者が登録した情報は、会員所属施設名簿に表示され、会員が検索することができる。
- ・集積情報は、会員情報の[付帯情報]に表示され、その施設で取得している診療報酬等の中から会員が業務として関わっている項目を選択する方式となる(2019年度予定)。

## アンケート調査回答による情報

対象者が回答した情報

- ・対象となる会員もしくは会員所属施設へ、制度に関する調査などをWEBや書面で実施している。
- ・付帯情報で登録された情報を基にアンケート調査先を選定している。

「賛助会員規程」の一部改定案が2019年度第5回定例理事会（2019年10月19日）で承認されました。今回の改定は賛助会員の特典（第4条）に関するものです。第2号：学会における展示空間の無償利用という特典は従来通り維持されますが、展示ブースの設置および撤去費用については請求させていただくことになります。第3号：紙媒体の会員名簿が廃止されたことを受けて削除。第4号：電子化された学術誌には適用されなくなりましたが、学会プログラム集が特典の対象となることが明記されました。

一般社団法人 日本作業療法士協会

## 賛助会員規程（一部改定）

改定前	改定後
<p>(特 典)</p> <p>第4条 賛助会員である個人又は法人は、次の特典を受けることができる。</p> <p>(1) 作業療法に関する設備、機器等の開発、改良、情報収集等を行う場合には、本会から指導、助言を受けることができる。</p> <p>(2) 本会が主催する学会、研修会等で展示設備のある場合には、次の展示空間を無償で利用することができる。</p> <p style="padding-left: 20px;">A 会員 2 展示区分</p> <p style="padding-left: 20px;">B 会員 1 展示区分</p> <p>但し、設営にかかる実費は、当該賛助会員の負担とする。</p> <p>(3) 本会が発行する会員名簿に、事務所、営業所、電話番号のほか、営業品目等を無料で掲載することができる。</p> <p>(4) 本会が発行する学術誌『作業療法』に広告を掲載する場合は、掲載料金につき次の特典を受ける。</p> <p style="padding-left: 20px;">A 会員 5 割引</p> <p style="padding-left: 20px;">B 会員 3 割引</p> <p style="padding-left: 20px;">C 会員 1 割引</p>	<p>(特 典)</p> <p>第4条 賛助会員である個人又は法人は、次の特典を受けることができる。</p> <p>(1) 作業療法に関する設備、機器等の開発、改良、情報収集等を行う場合には、本会から指導、助言を受けることができる。</p> <p>(2) 本会が主催する学会、研修会等で展示設備のある場合には、次の展示空間を無償で利用することができる。</p> <p style="padding-left: 20px;">A 会員 2 展示区分</p> <p style="padding-left: 20px;">B 会員 1 展示区分</p> <p>但し、<b>学会運営事務局が手配する仕切りや看板等の設備、電気工事等にかかるオプション料金及び終了後の撤去費用は、当該賛助会員の負担とし、学会運営事務局から請求する。また、展示空間内において当該賛助会員が独自に行う各種設営にかかる実費は、当該賛助会員の負担とする。</b></p> <p><del>(3) 本会が発行する会員名簿に、事務所、営業所、電話番号のほか、営業品目等を無料で掲載することができる。</del></p> <p>(3) 本会が発行する<b>学術誌『作業療法』学会プログラム集</b>に広告を掲載する場合は、掲載料金につき次の特典を受ける。</p> <p style="padding-left: 20px;">A 会員 5 割引</p> <p style="padding-left: 20px;">B 会員 3 割引</p> <p style="padding-left: 20px;">C 会員 1 割引</p>

## 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会について

教育部 養成教育委員会

2018年10月5日に理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則および指導ガイドラインが改正された。理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則および指導ガイドラインは理学療法士および作業療法士の入学または入所の資格、修業年限、教育の内容等を規定しており、1999年に教育科目から教育内容による規定への変更や単位制の導入など、カリキュラムの弾力化等の見直しを行って以来、約20年ぶりの改正である。今回の改正のポイントは、総単位数の見直し（93単位から8単位増の101単位）、専任教員の要件の見直し（2022年4月より専任教員となる場合は、「厚生労働省指定専任教員養成講習会」の修了などの要件を追加）、臨床実習のあり方であった。臨床実習に関する事項は、実習形態としては診療参加型実習の推奨が明記され、実習時間としては現行の18単位（810時間）から22単位（990時間）以上となった。また、実習指導者の要件としては、作業療法士として5年以上業務に従事した者（これまでは作業療法士免許取得後3年以上業務に従事した者）であり、かつ、以下のいずれかの講習会を修了した者とされ、「厚生労働省指定臨床実習指導者講習会」、「厚生労働省及び公益財団法人医療研修推進財団が実施する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会」、「一般社団法人日本作業療法士協会が実施する臨床実習指導者 中級・上級研修」の3講習（研修）会が明記された。

当協会としては、作業療法参加型臨床実習を基盤とした「作業療法臨床実習指針（2018）／作業療法臨床実習の手引き（2018）」を当該指定規則の改正に先行して2018年3月31日に発刊し、改正後に対応できるよう準備を進めてきた。

2017年度までに「厚生労働省及び公益財団法人医療研修推進財団が実施する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会」、「一般社団法人日本作業療法士協会が実施する臨床実習指導者 中級・上級研修」の修了者は約1,600名、2018年度の「一般社団法人日本作業療法士協会が実施する臨床実習指導者 中級・上級研修」修了者は870名となっている。

2019年度に、一般社団法人日本リハビリテーション学校協会、一般社団法人日本作業療法士協会、公益社団法人日本理学療法士協会共催で「厚生労働省指定臨床実習指導者講習会」を開催することの許可が下りたため、当該講習会を全国各地で14回実施し、約1,300名が修了している（10月25日現在）。

作業療法士養成施設の入学定員と新たな実習形態を考慮すると、臨床実習指導者の最低必要人数は約15,000名と考えられているが、臨床実習指導者の資格を有する者の総数は現在約3,800名で、2019年度後半および2020年度でさらに10,000名以上の養成が急務となっている。

そのため当協会では、2020年度から臨床実習指導者講習会を生涯教育制度に位置付けることになった（詳細は次ページを参照）。医療のみならず実習が必須の学問では、養成課程で修得した基本的な知識・技術・態度が卒後の研鑽へ継続される。すなわち、卒前・卒後の一貫した教育が必須のはずであるが、それが義務化されている医師や看護師とは異なり、理学療法士・作業療法士資格では厚生労働省が指定した卒後研修制度は存在せず、各職能団体が実施している卒後教育制度に頼っている現状である。当該講習会は厚生労働省が指定した初めての講習会であり、重要な卒後教育の1つとして認識すべきである。

当協会では、2018年度の研修会より、「作業療法臨床実習指針（2018）／作業療法臨床実習の手引き（2018）」をテキストとして採用しスライド説明資料を加えて講義を実施しており、実習指針と実習の手引きに則した臨床実習を展開していく所存である。

# 臨床実習指導者講習会の生涯教育制度への統合について

教育部 生涯教育委員会

生涯教育委員会では、2019年6月より実施されている厚生労働省指定「臨床実習指導者講習会」を踏まえ、生涯教育制度への統合について検討してきました。検討の結果が2019年8月の第4回定例理事会にて審議され承認されましたので、以下にその内容を掲載します。

## 1. 生涯教育制度における臨床実習指導者講習会の位置付け

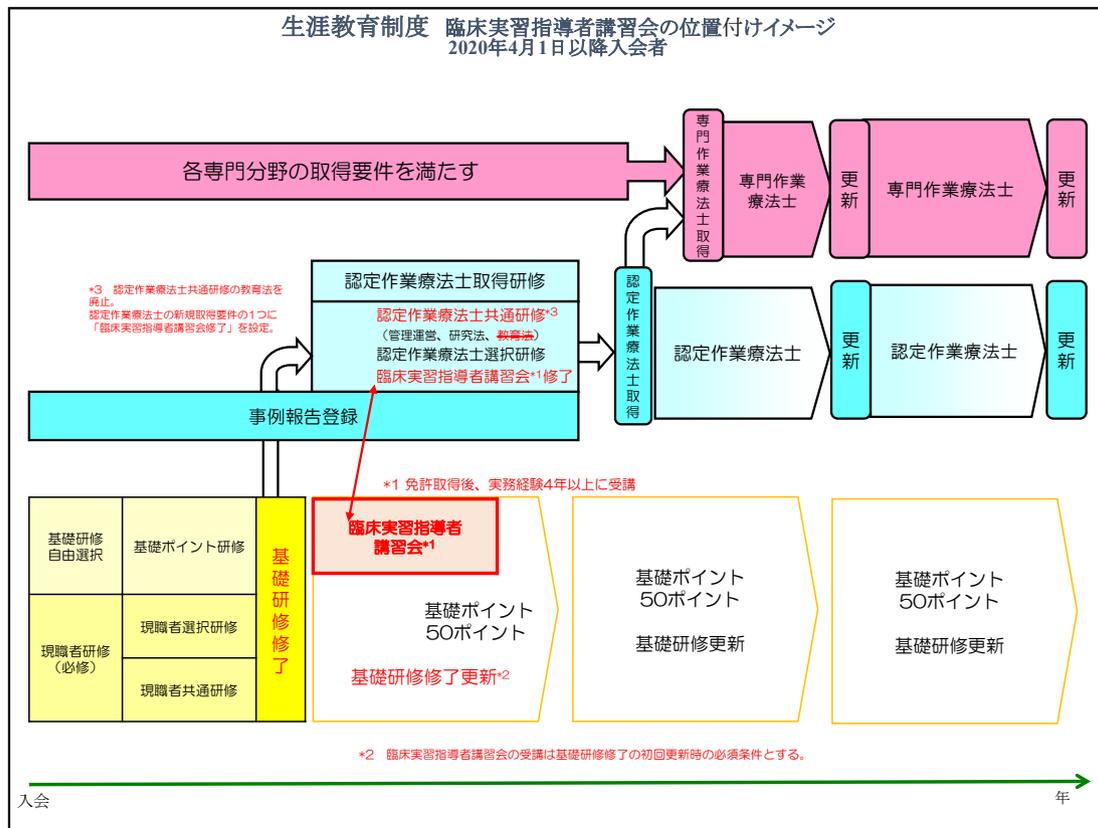


図1 生涯教育制度における臨床実習指導者講習会の位置付け

図1は2020年度からの「臨床実習指導者講習会」の位置付けをイメージした生涯教育制度の構造図です。基本的には、基礎研修修了後の初回更新時までには受講が必須となる更新必修研修として位置付けられました。

「臨床実習指導者講習会」は免許取得後、実務経験4年以上の方が受講可能。以下、会員履歴および生涯教育の進捗状況別に受講条件等を示します。

- 2020年4月1日以降に入会する会員の方
  - 基礎研修の初回修了申請は従来通り行う。

- ・基礎研修修了申請後、有効期限の更新を行う場合には初回の更新時まで、臨床実習指導者講習会の受講修了が必要。また認定作業療法士を目指す方は、認定作業療法士取得研修の受講要件として臨床実習指導者講習会の受講修了が必要。
- 2) 2020年3月31日までに入会している会員の方  
ご自身の生涯教育制度の進捗状況を確認してください。
  - ①基礎研修がまだ修了していない会員：初回更新までに臨床実習指導者講習会を受講修了、あるいは、認定作業療法士取得研修の申込み時までに臨床実習指導者講習会の受講修了が必要。
  - ②基礎研修が修了している会員：受講を強く推奨（次期制度改定では受講が必須となります）。認定作業療法士取得研修の申込み時までに臨床実習指導者講習会の受講修了が必要。
  - ③認定作業療法士のうち、臨床実習指導者研修修了認定の未申請者：受講を強く推奨。
  - ④専門作業療法士の会員：受講を強く推奨。
- 3) 2019年度までに認定作業療法士取得共通研修「教育法」を受講済の会員の方
  - ・認定作業療法士を新規に申請する場合は、従来の要件にて申請可能。
  - ・臨床実習指導者研修修了認定を受けていない場合は、臨床実習指導者講習会の受講を強く推奨。
- 4) 認定作業療法士の資格再認定試験の受験資格
  - ・臨床実習指導者講習会修了を新たな受験要件とします。
- 5) その他
  - ・臨床実習指導者講習会世話人への基礎研修ポイント（講師ポイント）は2ポイント、認定作業療法士更新要件の社会的貢献・後輩育成1回（認定作業療法士更新5ポイント）となります。

## 2. 認定作業療法士制度の改定（臨床実習指導者講習会の位置付け）

新規取得要件の新旧比較は以下の表1の通りです。

表1 認定作業療法士新規取得要件の変更

	旧 取得要件	新 取得要件
認定作業療法士取得共通研修	3 講座 受講修了 「教育法」「研究法」「管理運営」	2 講座 受講修了 「研究法」「管理運営」
認定作業療法士取得選択研修 「臨床実習指導者講習会」	2 講座 受講修了	2 講座 受講修了 講習会受講修了
症例報告（3例）	3 事例（読み替え要件あり）	3 事例（読み替え要件あり）

従来の認定作業療法士取得共通研修の「教育法」が時間数ならびに研修内容の点で「臨床実習指導者講習会」に包含されることが確認されました。このことにより2020年度からは、認定作業療法士取得の要件であった「教育法」を廃止し、認定作業療法

士の新規取得要件の1つに「臨床実習指導者講習会修了」を設定することとなります。

会員の皆様は継続した生涯教育への取り組みをお願いします。

本件に関する問い合わせは、ot-syogaikyouiku@jaot.or.jp までお願いします。



# MTDLP 実施・活用・推進のための 情報ターミナル

次の扉を開く！ 啓発・普及から定着・展開へ

第 14 回

生活行為向上マネジメント士会連携支援室

## 未来に向けて！ MTDLP の定着・展開の鍵を握る養成教育

### 養成教育における MTDLP 普及の意義と取り組み ⑤ MTDLP を活用した臨床実習の実際

教育部 養成教育委員会 MTDLP 教育推進班 田中 浩二・徳地 亮・小林 幸治

2019年8月4日（日）東京で表記の重点課題研修を開催しました。「作業療法養成教育のなかで MTDLP をどう活用するか」に関する研修であり今年度で4回目を迎えました。この研修企画は、図1のような経緯で企画を進めてきました。今回、参加者のアンケートから考察し、今後の重点課題研修の方向性について考えたいと思います。

2016・2017年

教員向け研修：**MTDLP を養成校で教育する方法（課題と解決方法）**

2018年

教員および臨床実習指導者向け研修：  
**MTDLP を臨床実習で活用する方法**

2019年

教員および臨床実習指導者向け研修：  
**教育ツールとして MTDLP を活用する方法（学内／実習／スタッフ教育）**

2020年：予定

教員および臨床実習指導者向け研修：  
**作業療法参加型実習の到達目標と学生評価を検討する**

2019年「教員および臨床実習指導向けの研修」でのアンケートの結果より

図1 重点課題研修で進めてきた養成教育での MTDLP に関する方向性

#### 1) 養成教育での現状の問題と課題を整理することが必要である

「現状の問題が何かを捉えたい」という意見がありました。具体的には、学内教育では「授業でどう教えるのがよりよいのか確信がもてない」、臨床実習では「どの程度活用し、どう進めるのかイメージがもてない」という人が多いのではないのでしょうか。MTDLP を養成教育で教えるうえでの課題と、MTDLP をベースにした臨床実習を進めるうえでの課題について整理が必要です。

## 2) 課題抽出に向けて

- 現状の課題を共有することが必要ではないか。
- 養成校教員のニーズは「他校の工夫を学びたい」であった。
- 臨床実習指導者のニーズは「実習の実例を知りたい」であった。
- より多く養成校教員と臨床実習指導者が意見交換できる機会が必要ではないか。

・上記の課題解決に向けては、各地域で養成校教員と臨床実習指導者の情報交換と意見交換の場が必要ではないでしょうか。

## 3) 次年度に向けて

おかげさまで、今回も参加者の方々からよい評価をいただきました。養成教育委員会では、次年度以降も今回のアンケート結果を参考にして重点課題研修「MTDLP についての養成教育と臨床実習」を企画し開催していきます。

このアンケート結果を基に委員で検討したところ、各校のシラバスを見せ合いながら「こういう講義が学生に MTDLP の本質を理解させることができる」と話し合ったり、「臨床実習の実例」を多く聞くことができる内容を取り入れたいと考えています。

表1 研修への理解度と満足度

	割合
講義理解度	82.6%
情報活用度	79.7%
満足度	82.1%

表2 参加者の意見

	養成校教員側	臨床実習指導者側
もっと聞きたかったこと	現状の問題の整理 精神科領域での活用や教育の工夫	MTDLP の効果について 卒後教育のシステム
グループディスカッションについて	他校の状況を聞いて有意義であった 臨床家の意見が聞いて貴重だった	より時間をとって少人数でのグループワークを行いたい 養成校と臨床と両方のテーマがあって良かった
研修全体についての意見	養成教育と臨床現場のニーズが十分 マッチしていない現状がわかった	養成校との情報交換会を望む MTDLP 実習をより良くしようとする意識が伝わってきた 実習での MTDLP の使い方実例をもっと知りたい



図2 研修会の様子 (全体ディスカッション)

**MTDLP 関連情報は協会ホームページからいつでも見られます**

QR コードからも直接、掲載ページに移動できます➡

◀ MTDLP 研修の履修促進に関する相談・問合せ ▶ [専用メールアドレス：mtdlp-master@jaot.or.jp](mailto:mtdlp-master@jaot.or.jp)

MTDLPのページはこちら ➡ [協会ホームページ TOP](#) 下段バナー「生活行為向上マネジメント」> [生活行為向上マネジメント士会連携支援室](#)



# 総合事業 5分間 講読

「講読」とは「書物を読んで、その意味・内容などを解き明かすこと」とあります。作業療法士の実践を知り、自分なりの総合事業のあり方を考える道具としてご利用ください。

## 高齢者のQOL向上を支援する！ ～地域ケア会議助言者派遣における大分県 作業療法協会の取り組み～

医療法人畏敬会 井野辺病院

佐藤 暁

### はじめに

現在、大分県作業療法協会では、作業療法士を地域ケア会議助言者として、大分県内の各市町村に派遣している。大分県内には18の市町村があるが、2012年度に派遣を開始し今年度で8年目に突入した。開始時は3市に11名(延べ52回)であった派遣規模も、徐々に増加の一途をたどり、2018年度は16市町に60名(延べ238回)にまで拡大した。大分県の各市町村で行われている地域ケア会議は、概ね1回3～4事例、1事例30～40分で開催され、作業療法士、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士などが助言者として参加している。自立支援に資するケアマネジメントに対応するために、多職種協働による協議を行い、開始当初から「高齢者のQOL向上を目指す」という目的は一貫している(図1)。大分県作業療法協会が取り組んでいる地域ケア会議助言者派遣を通じて見てきた作業療法士の役割を報告する。

### 地域ケア会議助言者派遣について

2013年度より地域ケア会議助言者派遣は図2の手順で行っている。「人材育成道場」を受講した作業療法士は、現在まで83名おり、所属病院・施設の承認および地域ケア会議の聴講を経て、登録ということになる。年2回(上半期/下半期)大分県からの派遣依頼(大分県が一括して調整をしている)があり、地域の実情に応じて登録者のなかから派遣者を決定している。地域ケア会議は、個別課題の解

### 地域ケア会議の目的と内容

#### 要支援・要介護者を元気に！



大分県高齢者福祉課 資料引用

図1 地域ケア会議の目的と内容

決から地域課題の発見を導き出していくことが役割としてある。これはサービス担当者会議との違いでもあり、専門的知識に加え、地域資源を把握していることが助言者には求められる。派遣後は、報告書の提出を必須とし、さらに地域包括ケアシステムにおけるスキルアップ研修の受講を勧めるなど、地域ケア会議助言者としての自己研鑽を促している。

### 人材育成の取り組み

地域ケア会議助言者派遣を調整するなかで、大分県作業療法協会として、2012年度から2014年度までは「人材の量的な確保」、2015年から現在までは「人材の質的な確保」に主眼をおいた後方支援を行ってきた。「人材の量的な確保」では、当協会の支部長(県内11支部)の協力のもと対応できる作業療法士を確保し、「人材の質的な確保」では、研

### 地域ケア会議 助言者 派遣について

1. 地域包括ケアシステムについて各自学習
2. 「人材育成道場（地域ケア会議 助言者編）」を受講
3. 地域ケア会議を傍聴（2回）及び  
所属病院・施設の承認（派遣 可能の有無）
4. 地域ケア会議 助言者として登録
5. 毎年、登録の中から派遣者を決定
6. 新規派遣者は、「地域ケア会議 新規助言者研修」を受講
7. 地域ケア会議 助言者として派遣（原則1年任期）
8. 報告書を大分県作業療法協会に提出（必須）
9. 地域包括ケアシステム スキルアップ研修を受講

図2 地域ケア会議 助言者派遣の手順

修会（2015年度から現在まで延べ32回）の開催を中心に取り組んできた。近年は、「模擬事例から助言を考える」というテーマで能動的研修を中心に企画運営を行っている。

現状として、報告書の未提出や研修会の参加率の低さなど課題は山積している。

### 地域ケア会議助言者の役割

大分県の各市町村で行われる地域ケア会議において作業療法士に求められることは、「自立支援に向けた生活課題の解決」に集約されるのではないかと考える。作業療法士は、対象者の実際の生活を理解したうえで、①生活課題が不明確である場合は、課題の整理をすること（事例提供者およびサービス事業所に“気づき”を促すこと）、②生活課題が明確である場合は、課題に対して具体的対応策を述べること（5W1Hを意識すること）、③わかりやすく伝えること（助言を受ける側が納得しないとイケないこと）が求められている。ポイントは、事例提供者およびサービス事業所からの情報の「アセスメント」である。紙面から瞬時に判断し、的確な助言をしていかなければならない。また、時間制約（1事例約3～4分の発言時間）があるなかでの助言となるので、トレーニングは必須である。

事例提供者またはサービス事業所は、「高齢者のQOL向上」に即した助言であると納得した場合、対象者の方の合意を得て対応することになる。ただ、させられる合意は真の合意ではない。事例提供者またはサービス事業所が対象者の想いを尊重し、合意形成に至ることは並大抵のことではない。そのことを作業療法士は理解しておく必要がある。

### 課題

「何が言いたいかわからない」「どの事例でも助言が一緒」「作業療法士には期待しているが…」など、市町村や地域包括支援センターからご意見をいただくことがある。厳しい意見ではあるが、チームの一員として認めていただいていると捉えている。私自身も、人材育成等を通じて「役割を果たしているのか」「自己研鑽に取り組んでいるのか」などと感じることもあるため、市町村や地域包括支援センターからのご意見に納得することがある。「派遣者の助言＝大分県作業療法協会の助言」であること、さらには、「作業療法士の存在意義にも関わってくる」ことを今一度認識しておく必要がある。多職種連携が重要であることに疑う余地はない。そのなかで、作業療法士の役割を発揮できなければチームの一員にはなれない。「同職種連携」を深化させていくことが急務である。

地域包括ケアシステム推進委員会  
佐藤孝臣 理事より一言

大分県は全国に先駆けて「地域ケア会議」を推進している。しかし大分のように頻りにケア会議を行っている市町村や包括の職員の「目が肥える」ことにより作業療法士への要望が高くなる。佐藤氏の「作業療法士の存在意義にも関わってくる」との危機感を持ったコメントは、長くケア会議に関わっている担当者としての本音だろう。課題は次なる目標にもなる。大分でのさらなる取り組みを期待したい。



### 2019 年度重点課題研修 『グローバル活動セミナー』 開催決定

2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催が近づき、日本だけでなく世界各国でスポーツへの関心が高まっている。国際協力においても、障害者の社会参加を支援する手段としてスポーツは有用だ。実際、国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊に従事した多くの作業療法士が作業の一つとして障害者スポーツを導入し、開発途上国の障害当事者や家族に関わってきたと報告している。

国際部・教育部の本年度の重点課題研修「グローバル活動セミナー」でも、国際協力と障害者スポーツに着目した実践講座や実践報告を予定している。また例年通り、障害者スポーツに限らず国際協力・国際交流活動への参加や募集情報などについて国際協力・交流経験者と直接質疑応答ができる参加型ワークショップも実施する。障害者スポーツを含む国際協力・交流活動について興味・関心のある協会の参加をお待ちしている。



2018 年度グローバル活動セミナーの様子

### グローバル活動セミナー

海外で働く、学ぶ、生活する ～作業療法士の国際協力・交流活動と障害者スポーツ～

#### 講義概要

- 1) 障害者スポーツと国際協力
- 2) 障害者スポーツ実践講座（ボッチャのルールと実践）
- 3) 実践報告（障害者スポーツ / JICA 海外協力隊 / 内閣府地域コアリーダープログラム）
- 4) 情報共有ワークショップ（講演者と参加者の質疑応答形式）

#### 日時

2020 年 1 月 26 日（日） 10：00 ～ 16：30 受付時間 9：30 ～

#### 場所

一般社団法人 日本作業療法士協会 10 階会議室

### 7th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC) (第 7 回アジア太平洋作業療法学会)

2020 年 11 月 18 日～ 20 日 フィリピン（マニラ）開催 <http://apotc2020.com>

演題応募ページ：

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf983taMh0dkp8hAhsYZ7C\\_CRymV2oIqG3uIntd4Gef4B8WkA/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf983taMh0dkp8hAhsYZ7C_CRymV2oIqG3uIntd4Gef4B8WkA/viewform)

演題募集要項ページ：<http://apotc2020.com/pdf/ABSTRACT%20SUBMISSION%20GUIDELINES.pdf>

## 私なりの“いい調子”

藍野花園病院 白取 美有紀

### ずっと“いい調子”でいるのは難しい

仕事を始めて15年目になる。いつでも順風満帆とはいかず、特に子どもが生まれてからは仕事と家庭の両立に悩むことが多くなった。片付けが苦手な私は、仕事場でも家でも、すぐに机の上が物であふれ出す。気持ちの余裕のバロメーターのように物が積み上がっていく。あれもこれも、とやることを山積みにしてしまっているのだろうか…物が多くなってくると一気に視野が狭くなり、被害的にもなる。ずっと見通しのいい机を維持するのは案外難しい。

### 仕事を休む決断

子どもが3歳になった頃、母がガンになった。誰もがいつかは経験する身内の不幸だが、父、祖母、祖父に続いて、今度は母か！と立て続けだった。なぜ私だけ？そんな思いも湧いた。ガンとわかったときにはかなりステージは進んでおり、手の施しようがなかった。腹水がたまったり、腎機能の悪化で尿閉になったり、体力低下から転倒したり…日々悪化していった。仕事が終わって、急いで子どもを迎えに行くのだが、保育園のプレイルームから園庭が出るまで、大人なら1分で通り抜けられるところも子どもと一緒に歩くと5分も10分もかかる…「早くしなさい！」そう言って子どもを急き立て、母の入院先に通った。母は闘病生活を送るなかで、孫に会える時間が唯一の楽しみだったようだ。母の笑顔を見ると、私も笑顔になれた。それでも慌ただしい日々が続くと、仕事場でも家でも、高く積み上げられた机からは周りが見えなくなり、自分を見失いそうになっていた。

入院してすぐ、母は「家に帰りたい」と言っていた。医師にあと数週間と告知されたときに、母を実家に連れて帰ることにした。介護休業をとろうと決

断するには罪悪感があった。自分が休んだら人手不足になりはしないか、誰かの負担が多くなりはしないか、みんなに迷惑をかけるんじゃないか、無責任と思われやしないか…それでも背中を押してくれたのは仲間の応援だった。「仕事の代わりは他にもいるけど、娘の代わりはあなたにしかできない」「親の介護なんて、誰もが経験すること。それがあなたは他の人よりちょっと早かっただけ」そう言って背中を押してもらい、“仕事”の机を一旦離れ、介護に専念する決心をしたのだ。

終末期を母の望むように過ごしてもらおうべく、すぐに在宅介護をスタートさせた。介護ベッドのレンタル、24時間対応の訪問看護、入浴サービス、身体介護ヘルパーが導入された。点滴やおむつ交換など母のケアを通しいろいろな経験をした。3週間ほどではあったが、私なりにできることはやり、母を家で看取ることができた。

### まあまあ“いい調子”

今もよく、机の上は物であふれ出す。それでも高く積まれる前に、最近は、いい意味であきらめがつくようになった。仕事も家事も子育ても、一人で抱え込んだり、完璧にしようと思うのはやめた。そう思えるようになったのも、親の介護を全力でやり切った体験により、自分の限界と可能性を知ることができたからかもしれない。いつも本気の全力モードだとすぐに消耗してしまう。たまには人に頼ったり、家事をさぼったり、休日には旅行に行ったり、おいしいものを食べたり…そうやって適度に手を抜いたり発散しながら、まあまあ“いい調子”な状態を維持できたらいいな、と思う。私の体験が誰かの支えになれば幸いである。

# 札幌刑務支所見学会報告

## 制度対策部

日本作業療法士協会では、司法領域での作業療法士の活用に向け、昨年度からより多くの会員が当該領域へ関心を持つ端緒となることを目的として刑務支所見学会を開催している。2018年10月の府中刑務支所見学会、2019年2月の大阪刑務支所・大阪医療刑務支所見学会に引き続き、第3回目として札幌刑務支所見学会を2019年9月20日に行ったので、概要を報告する。

札幌刑務支所は札幌市内にあり、札幌刑務所に隣接する女子刑事施設である。定員508名、見学会時の収容人数は約300名であった。受刑者の平均年齢は49歳で、罪名別では窃盗と覚せい剤取締法違反が8割を占めている。受刑者のうち初入117名、再入165名と再犯が多く、特に薬物事犯117名のうち再入は97名に上るとのことであった。

見学は、施設概要の説明の後に、①特別改善指導の薬物依存再発防止プログラム、②居住エリア、③工場（縫製、軽作業、洗濯）、④グラウンド、体育館を回った。出所後の就労状況や生活環境によって再犯率が異なるとの説明もあり、体育館の掲示板には就労に向けてのステップを分かりやすく解説したポスターが貼られ、出所後の社会生活を視野に入れた取り組みがさまざまな手段で行われていることが窺えた。

見学後の質疑では、受刑者のアセスメントや作業マッチングの手法、生活の様子、余暇活動、就労支援について等、多くの質問が挙がった。刑務支所側からは今年度より開始している薬物依存症回復支援プログラムについて説明があった。犯罪件数が減少している一方で覚せい剤取締法違反による検挙人数は横ばいであり、覚せい剤取締法違反により受刑した者の2年以内再入率は18.7%と全体平均17.3%

に比して高い。上述したように女子入所受刑者には再犯の薬物事犯者が多いため、刑務所から出所後の切れ目のない支援が不可欠との認識から立ち上げられたプログラムであり、依存症支援施設と連携し、プログラム等を通じて社会との関わりを持たせ、出所後も継続的に支援することを目指しているとのことであった。また、女子受刑者に特徴的な問題として、摂食障害や自傷行為が多くあることもコメントされていた。

全国各地から参加者が集まった第1回、第2回の見学会と異なり、今回は参加者の9割が北海道の会員であった。所属は身障と精神の医療機関がそれぞれ1/3を占め、その他は介護、障害福祉、行政、養成教育の各領域であった。見学会後の参加者アンケートでは、作業選択や環境調整、依存症回復プログラム、精神疾患のある受刑者に対する関わり等で作業療法士としてできることがあるのではないかと、一方、今回見学した札幌刑務支所に関しては受刑者の高齢化による問題はほばないため、関わることが少なそうだと、との感想も出ていた。過去2回の見学会とも共通し、刑務所側に作業療法を理解してもらうこと、作業療法士も矯正施設について理解を深めることが必要との意見も挙がっていた。

司法領域への関心は高いものの、矯正施設に関わる作業療法士はまだ数が少なく、各々が手探りでこの領域での作業療法の活かし方を模索している。今後は、当該領域に関わっている作業療法士同士の情報共有や、関わりたいと思っている作業療法士への情報提供を、各都道府県士会とも連携しながら行っていきたいと考えている。また、矯正施設側に作業療法を理解してもらう機会を作るよう試みていきたい。

## 第5回 「児童福祉領域における作業療法」意見交換会

2017年から実施している「児童福祉領域における作業療法」意見交換会を愛知県名古屋市にて開催いたします。

児童福祉の分野で作業療法士の活躍の機会が増える一方で、幅広い制度の把握が難しい、一人職場で相談するところがないなどの悩みを抱えている方も増えているのではないかと思います。児童福祉に関連する制度について学び、実践報告を通して、地域で子どもの暮らしと育ちをどのように支えるか、作業療法士としての役割は何かを語り合しましょう。子どもの支援に関わっている、またはこの分野に関心のある作業療法士の方のご参加をお待ちしています。

**開催日時：**2020年2月23日（日）、2月24日（祝月）

**開催場所：**中部大学名古屋キャンパス（愛知県名古屋市中区千代田5-14-22）

JR中央本線「鶴舞」駅 名大病院口（北口）下車すぐ

地下鉄「鶴舞」駅下車北へ約100メートル

**対象：**日本作業療法士協会会員

\* 先着順

\* 両日参加の方を優先

\* 同一施設から複数お申し込みの場合は人数を調整させていただく場合があります

**プログラム：**●行政説明 鈴木 久也（厚生労働省、障害児支援専門官）

●実践報告 浅野 京子（春日井こども発達支援センターてくてく）

渡邊 雄介（児童発達支援事業・放課後等デイサービスあるてあ）

●グループディスカッション

**参加費：**無料

**申込：**<https://forms.gle/QbDc8yeqgajU9Ran6>

申込フォームが開きます。必要事項を入力し送信されますと

受付完了のメールが自動返信されます。

参加の可否については後日改めてお知らせいたします。

**申込締切：**2020年1月18日（土）締切 \*先着順

**問い合わせ：**ot\_seido@jaot.or.jp





## 2019年度 協会主催研修会案内

※赤字は先月号よりの更新・変更です。

認定作業療法士取得研修 共通研修			
講座名	日 程(予定も含む)	開催地(予定も含む)	定員
教育法⑧	2020年1月11日(土)～1月12日(日)	東京：台東区 日本作業療法士協会事務局	45名

認定作業療法士取得研修 選択研修			
講座名	日 程(予定も含む)	開催地(予定も含む)	定員
身体障害の作業療法⑧ 急性期から在宅までの対象者への作業療法を考える	2020年1月18日(土)～1月19日(日)	福岡：福岡市 天神チクモクビル小ホール	40名

専門作業療法士取得研修				
基礎研修：受講要件はありません。臨床経験や認定取得状況に関わらず、入会后臨床1年目から受講可能です。				
講座名	日 程(予定も含む)	開催地(予定も含む)	定員	
高次脳機能障害	基礎Ⅳ	2019年12月14日(土)～12月15日(日)	大阪：吹田市 JEC日本研修センター 江坂	40名
	応用Ⅰ	2020年2月15日(土)～2月16日(日)	大阪：大阪府内 調整中	20名
摂食嚥下	応用Ⅳ	2020年1月18日(土)～1月19日(日)	東京：台東区 日本作業療法士協会事務局	20名
手外科	詳細は日本ハンドセラピー学会のホームページをご覧ください。			
認知症	基礎Ⅱ	2019年12月21日(土)～12月22日(日)	大阪：大阪府内 調整中	40名
	基礎Ⅳ	2020年2月1日(土)～2月2日(日)	大阪：大阪府内 調整中	40名
	応用Ⅰ	2020年1月26日(日)	大阪：大阪府内 調整中	40名
	応用Ⅸ	2020年1月25日(土)	大阪：大阪府内 調整中	40名
福祉用具	基礎Ⅰ	2020年1月25日(土)～1月26日(日)	大阪：大阪市 株式会社ウイズ	40名
	基礎Ⅱ	2020年3月7日(土)～3月8日(日)	東京：豊島区 日本リハビリテーション専門学校	40名

作業療法重点課題研修			
講座名	日 程(予定も含む)	開催地(予定も含む)	定員
運転と地域での移動手段に関する研修会	2020年2月1日(土)～2月2日(日)	福岡：福岡市 国際医療福祉大学 福岡キャンパス2号館	80名
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた作業療法研修会	2019年12月21日(土)～12月22日(日)	静岡：静岡市 ふしみや会議室	60名
グローバル活動セミナー 海外で働く、学ぶ、生活する ～作業療法士の国際協力・交流活動と障害者スポーツ～	2020年1月26日(日)	東京：台東区 日本作業療法士協会事務局	30名
生活行為向上マネジメント指導者研修	2020年2月29日(土)～3月1日(日)	兵庫：神戸市 甲南女子大学	40名

臨床実習指導者講習会			
講座名	日 程(予定も含む)	開催地(予定も含む)	定員
臨床実習指導者実践講習会	2020年2月15日(土)～2月16日(日)	神奈川：横浜市 横浜リハビリテーション専門学校	60名

がんのリハビリテーション研修会			
講座名	日 程 (予定も含む)	開催地 (予定も含む)	定員
がんのリハビリテーション研修会	詳細・申込み方法は協会ホームページに掲載。	大阪：大阪市 森ノ宮医療大学	
認定作業療法士研修			
講座名	日 程 (予定も含む)	開催地 (予定も含む)	定員
認定作業療法士研修会 ～指導的職員・職場リーダー育成講座～	2020年2月29日(土)～3月1日(日)	東京：台東区 日本作業療法士協会事務局	40名

## 生涯教育講座案内 【都道府県作業療法士会】

現職者選択研修						
講座名	日 程	主催県士会	会 場	参加費	定員	詳細・問合せ先
身体障害	2019年11月24日(日)	千葉県	国際医療福祉大学 成田キャンパス	4,000円	50名	詳細は決まり次第、千葉県作業療法士会ホームページに掲載いたしますのでご参照ください。
発達障害	2019年12月1日(日)	石川県	金沢こども医療福祉センター	4,000円	40名	詳細は決まり次第、石川県作業療法士会ホームページにて掲載いたしますので、ご参照ください。
身体障害	2019年12月1日(日)	北海道	未定	4,000円	70名	詳細は北海道作業療法士会のホームページに掲載いたします。
精神障害	2019年12月1日(日)	茨城県	茨城県立医療大学	4,000円	100名	詳細は決定次第、茨城県作業療法士会ホームページにて掲載予定です。
老年期障害	2019年12月8日(日)	奈良県	すみれホール (近鉄大和八木駅から徒歩5分)	4,000円	60名	詳細：(一社)奈良県作業療法士会ホームページ 問合せ先：秋津鴻池病院リハビリテーション部 木納(きのう)潤一 電話：0745-63-0601
身体障害	2019年12月8日(日)	熊本県	熊本機能病院(大ホール)	4,000円	100名	詳細は決まり次第後日熊本県作業療法士会ホームページに記載します。 問合せ先：水前寺とうや病院 川口 正 電話：096-384-2288
身体障害	2019年12月15日(日)	岡山県	川崎リハビリテーション学院	4,000円	100名	詳細は決まり次第、岡山県作業療法士会ホームページに掲載いたしますのでご参照ください。
老年期障害	2019年12月15日(日)	福島県	郡山健康科学専門学校	4,000円	80名	詳細は決まり次第、福島県作業療法士会ホームページに掲載いたします。
身体障害	2020年1月19日(日)	和歌山県	和歌山県JAビル	4,000円	60名	詳細・問い合わせ先：和歌山県作業療法士会ホームページをご参照ください。
老年期障害	2020年1月19日(日)	佐賀県	伊万里有田共立病院	4,000円	80名	詳細は佐賀県作業療法士会ホームページに掲載予定です。
* 精神障害	2020年2月2日(日)	山梨県	大木記念ホール	4,000円	60名	詳細：(一社)山梨県作業療法士会ホームページ 問合せ先：峡西老人保健センター 長澤 奏太 電話：055-282-7000

\*は新規掲載分です。

■ 詳細は、日本作業療法士協会のホームページをご覧ください。

■ 協会主催研修会の問い合わせ先 電話：03-5826-7871 FAX：03-5826-7872 E-mail：ot-kenshu@jaot.or.jp

# がんの緩和ケアに関わる リハビリテーション専門職研修会

2020.2.8<sup>土</sup>-9<sup>日</sup>

**目的** 2016年に改正されたがん対策基本法では、がん患者の療養生活の質の維持向上として、「緩和ケアが診断時から適切に提供されるようにすること」、「患者の状況に応じた良質なリハビリテーションの提供が確保されるようにすること」が謳われており、リハビリテーションの支援体制の充実が急務であるといえる。

本研修会は、緩和ケアの基礎の理解、症状に応じた実践、退院支援、在宅での実践などを主たる内容として構成され、がん医療に関わる療法士の臨床実践力の底上げを図る目的で開催する。

**開催日** 2020年2月8日（土）～9日（日）  
（8日 9：50～17：30、9日 9：00～15：40）

**会場** TKP 心斎橋駅前カンファレンスセンター ホール11A  
（542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 3-11-18 郵政福祉心斎橋ビル）

**参加費** 10,000円（事前振込）  
※申込み専用フォームで登録後、受講の許可が確定しましたら振込先を記載したメールを配信いたします

**定員** 定員 150名 先着順で定員になり次第締め切り

**申込み方法** 協会ホームページをご確認ください。

## 問合せ先

リハビリテーション専門職団体協議会  
事務局（日本語聴覚士協会内）

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-29  
アクロポリス東京 9階

## E-mail

contact@japanslht.or.jp

プログラム (講師)

2月8日 (土)		プログラム	講師
1 日 目	9:50～10:00 (10分)	挨拶	
	10:00～10:20 (20分)	緩和ケア病棟でのリハビリテーションの実態調査結果報告	高島 千敬 (日本作業療法士協会)
	10:20～12:00 (100分)	・がんと緩和ケア概論 ・リハビリテーションを行う際のリスク管理 ・リハビリテーションへの期待	天野 晃滋 (大阪市立総合医療センター 緩和医療科：医師)
	昼休み 12:00～12:55 (55分)		
	12:55～13:55 (60分)	身体機能が低下した対象者へのリハビリテーション	峯岸 忍 (筑波メディカルセンター病院： 理学療法士)
	休憩 (10分)		
	14:05～15:05 (60分)	活動と参加への制限が出現した対象者へのリハビリテーション	藤井 美希 (大阪国際がんセンター：作業療法士)
	休憩 (10分)		
	15:15～16:15 (60分)	摂食嚥下障害、コミュニケーション障害をもつ対象者へのアプローチ	飯野 由恵 (国立がん研究センター東病院： 言語聴覚士)
	休憩 (10分)		
16:25～17:25 (60分)	グループワーク		
17:25～17:30 (5分)	事務連絡		

2月9日 (日)		プログラム	講師
2 日 目	9:00～10:00 (60分)	訪問、在宅支援	島崎 寛将 (医療法人社団秀博会：作業療法士)
	休憩 (10分)		
	10:10～11:40 (90分)	気持ちのつらさとコミュニケーション技能	岡村 仁 (広島大学：医師)
	昼休み (50分)		
	12:30～13:30 (60分)	がんをもつ緩和ケア対象者の退院支援 (看護師の立場から)	椎名 保恵 (国立がん研究センター東病院： 看護師)
	休憩 (10分)		
	13:40～15:40 (120分)	事例検討 (フォロー含む)	峯岸 忍 : 理学療法士 藤井 美希 : 作業療法士 飯野 由恵 : 言語聴覚士
15:40 閉会の挨拶			

## 研修会情報

### 在宅リハビリテーション従事者研修会 〈通所介護編〉・〈通所リハ編〉

- **主催**：日本作業療法士協会・日本理学療法士協会・日本言語聴覚士協会
- **開催**：一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団
- **要旨**：少子高齢社会対策として、地域包括ケアシステムの構築と、持続可能な社会の実現に向けて、矢継ぎ早に社会保障制度が見直されています。在宅リハビリテーションにおいては、高齢であっても、認知機能の低下があっても、障害があっても、病気療養をしても、心身機能の回復だけでなく、その人の持っている強みを活かして役割や社会参加活動につなげる暮らし作りが求められています。  
一方、これまで通所介護・通所リハに従事する療法士のための系統的な人材育成プログラムがなく、各事業所において手探りで運営がなされてきた経緯があります。  
そこで、本研修会において、通所介護・通所リハにおける運営の基礎から、実務の具体的な進め方、これからの療法士の役割に関してトータルに学びたいと思います。

#### ◎在宅リハビリテーション従事者研修会《通所介護編》

◇日時：2019年12月14日（土）～12月15日（日）

◇会場：

（メイン会場） 田町イーストウイングビル6階（東京都港区芝浦 3-5-39）

（サテライト会場）【名古屋】名古屋学院大学名古屋キャンパスしろとり 希（のぞみ）館  
（名古屋市熱田区熱田西町 1-25）

【兵庫】西宮協立デイケアセンターほほえみ（兵庫県西宮市津門呉羽町 10-13）

【福岡】医療法人福岡桜十字 桜十字福岡病院（福岡市中央区渡辺通 3-5-11）

◇対象者：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

◇お申込み：訪問リハビリテーション振興財団ホームページ <http://www.hvrpf.jp/2639>

#### ◎在宅リハビリテーション従事者研修会《通所リハ編》

◇日時：2020年1月25日（土）～1月26日（日）

◇会場：

（メイン会場） 田町イーストウイングビル6階（東京都港区芝浦 3-5-39）

（サテライト会場）【名古屋】名古屋学院大学名古屋キャンパスしろとり 希（のぞみ）館  
（名古屋市熱田区熱田西町 1-25）

【大阪】社会福祉法人慶生会 特別養護老人ホーム 称揚苑  
（大阪市東成区深江北 1-14-8）

【福岡】医療法人福岡桜十字 桜十字福岡病院（福岡市中央区渡辺通 3-5-11）

◇対象者：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 その他（看護師、ケアマネ等）

◇お申込み：訪問リハビリテーション振興財団ホームページ <http://www.hvrpf.jp/2647>

# 『研修受講カード』お手元にありますか？

事務局・教育部

皆様のお手元に『研修受講カード』はありますか？

2017年度(2018年3月末日)までに入会した方には、2018年度の会費納入状況にかかわらず2018年4月より順次発送し、2018年度から入会した方には、入会手続き終了後に送付しております。

事務局への問い合わせメールを見ると会員証と混同されている方が多くいらっしゃるようです。『研修受講カード』は、これまで毎年発行していた会員証とは違い、1度きりの発行です。当協会会員である期間はずっと持っていただくカードです。

紛失等による再発行は可能ですが、再発行は有料となります。紛失しないよう大切に保管し管理をお願いします。

## 定款施行規則 改定 (一部抜粋)

(電子会員証)

第7条 会長は、入会を承認した正会員及び以後毎年度会費を納入した正会員に対して別図第2の電子会員証を交付し、会員ポータルサイト上に掲載するとともに印刷可能な状態に置く。

(研修受講カード)

第8条 会長は、入会を承認した正会員に対し、原則として1回のみ別図第3の研修受講カードを交付する。



別図第2 (電子会員証)



(表)



(裏)

別図第3 (研修受講カード)

## ●研修受講カードとは？

- ①研修会へ持参し、受付に提示することでバーコード読み込みが行われ、参加受付ができます(順次、対象研修会拡大予定)。将来的には、研修受講カードを研修会時に読み取ることで生涯教育制度のポイント登録が自動的に行えるようになります(2020年度導入予定)。
- ②会員ポータルサイト ログインパスワードの発行に使用します。これまで、パスワードの発行は郵送受付のみで、お手元に届くまで時間がかかりましたが、研修受講カードに印字されている番号で本人確認を行い、仮パスワードが即時発行されます。

## ●会員証との違いについて

2018年度より、会員証は電子化されました。電子会員証は当協会にて当該年度の会費納入確認後に会員ポータルサイト内で表示・印刷ができます。

当該年度の会費を納めたことを証明するのが会員証であり、会員証には、年度の記載と有効期限が表示されています。また改姓のお届けがあった場合は、手続き終了後に改姓後のお名前に変更されます(ポータルサイトでの変更の場合は、翌稼働日に反映されます)。

2019年4月1日以降は、事務局で2019年度会費の納入を確認できた後に、表示・印刷が可能となります(2019年3月31日までに事務局で会費の納入を確認できた方には、2019年4月1日より2019年度の会員証が表示されます)。

電子会員証には研修受講カードと同じバーコードも表示されていますので、研修受講カードの代わりとしても使用可能です。ただし、会費の納入方法によって、入金確認作業に数日から2週間程度の日数がかかりますのでご注意ください。

## ●研修受講カードの再発行方法

申請書と再発行手数料1,500円が必要です。

協会ホームページの教育部生涯教育委員会ページに再発行の手続き方法を掲載していますので、そちらをご覧ください。協会事務局までお問い合わせください。

当協会は会員番号で皆さまの情報を管理しているため、婚姻等による改姓の場合でも、発行時のカードをそのままご利用することをお願いしております。改姓による再発行を希望される場合も、再発行手数料がかかりますのでご注意ください。



## 協会刊行物・配布資料一覧

資料名	略称	本体価格	
パンフレット	一般向け協会パンフレット (INFORMATION BOOK 1)	パンフ一般	
	一般向け協会パンフレット (INFORMATION BOOK 1) 英語版	パンフ英文	
	学生向け協会パンフレット (INFORMATION BOOK 2)	パンフ学生	
	作業療法は呼吸器疾患患者さんの生活の質の向上を支援します	パンフ呼吸器	
	入会案内	パンフ入会	
ポストカード	ポストカード第1集 ポスター編 (7枚セット)	ポストカード①	278円
広報 DVD	身体障害者に対する作業療法	広報 DVD 身体	各 3,704円
	精神障害に対する作業療法	広報 DVD 精神	
作業療法関連用語解説集 改訂第2版 2011	用語解説集	926円	
認知症高齢者に対する作業療法の手引き (改訂版)	認知症手引き	926円	
作業療法白書 2015	白書 2015	1,852円	
日本作業療法士協会五十年史	五十年史	2,778円	

### 作業療法マニュアルシリーズ

資料名	略称	本体価格	資料名	略称	本体価格	
31: 精神障害: 身体に働きかける作業療法	マ 31 精神・身体	各 926円	55: 摂食嚥下障害と作業療法 - 吸引の基本知識も含めて -	マ 55 摂食・嚥下	各 926円	
35: ヘルスプロモーション	マ 35 ヘルスプロモ		56: 子どもに対する作業療法	マ 56 子ども		
36: 脳血管障害に対する治療の実践	マ 36 脳血管		58: 高次脳機能障害のある人の生活 - 就労支援 -	マ 58 高次生活・就労		
37: 生活を支える作業療法のマネジメント 精神障害分野	マ 37 マネジメント		60: 知的障害や発達障害のある人への 就労支援	マ 60 知的・発達・就労		
41: 精神障害の急性期作業療法と 退院促進プログラム	マ 41 退院促進		61: 大腿骨頸部 / 脛子部骨折の作業療法 第2版	マ 61 大腿骨第2版		
43: 脳卒中急性期の作業療法	マ 43 脳急性期		62: 認知症の人と家族に対する作業療法	マ 62 認知家族		
45: 呼吸器疾患の作業療法①	マ 45 呼吸器①		63: 作業療法士ができる地域支援事業への 関わり方	マ 63 地域支援		
46: 呼吸器疾患の作業療法②	マ 46 呼吸器②		64: 栄養マネジメントと作業療法	マ 64 栄養		
50: 入所型作業療法	マ 50 入所型		65: 特別支援教育と作業療法	マ 65 特別支援		
51: 精神科訪問型作業療法	マ 51 精神訪問		66: 生活行為向上マネジメント 改訂第3版	マ 66MTDLP		2,000円
52: アルコール依存症者のための作業療法	マ 52 アルコール依存		67: 心大血管疾患の作業療法 第2版	マ 67心大血管		1,600円
53: 認知機能障害に対する自動車運転 支援	マ 53 自動車運転		68: 作業療法研究法 第3版	マ 68 研究法		1,000円
54: うつ病患者に対する作業療法	マ 54 うつ病					

#### 【申し込み方法】

お問い合わせは協会事務局までお願いします。  
 申し込みは、協会ホームページもしくは機関誌に掲載されている FAX 注文用紙、またはハガキにてお申し込みください。  
 注文の際の資料名は、略称でかまいません (上の表をご参照ください)。有料配布物は当協会からの申し込みの場合、送料は協会が負担します。購入者が非会員や団体等の場合および申し込み者が会員であっても請求書宛名が団体の場合は別途送料 (実費) をご負担いただきます (ただし、都道府県士会からの申込み分は送料無料)。無料配布パンフレットは、送料のみ負担となります。  
 有料配布物の場合は請求書・郵便振込通知票が同封されてきます。なるべく早くお近くの郵便局から振り込んでください。  
 不良品以外の返品は受け付けておりません。  
 \* 在庫僅少

※資料名は略称で結構です。

無料刊行物・配布資料

資料名	部数	資料名	部数
※協会広報活動の参考にしますので、使用目的をお書き下さい			

有料刊行物・配布資料

資料名	部数	資料名	部数

会員番号

---

氏 名

---

※当協会の方は、登録されている住所に送付いたします。登録住所に変更がある場合は変更手続きを行ってください。

非会員の方のみ会員番号欄に住所（〒を含む）、電話番号を記載してください。

※都道府県士会の広報活動等で使用される場合は、士会事務局に送付している専用申し込み用紙にて送付してください。

その場合、枚数制限はございません。

## リハビリテーションの理念を政治のなかで



中野区議会議員 浦野 さとみ

病気やけがをしても、その人らしく社会のなかで生活していくことを援助する。私は、この仕事に誇りをもってきました。一方で、お金のあるなしで命と健康に格差が生まれ、必要な医療や介護が受けられない現状があることに矛盾も感じてきました。

入職3年目 2006年4月の診療報酬改定で、リハビリテーション日数に上限が設けられることが決まりました。患者さんやご家族、医師らでつくられた「リハビリ診療報酬を考える会」が署名に取り組み、約1ヵ月半で、44万を超える署名を厚生労働省へ提出。私たちも患者さんと一緒に取り組み、全国の医療団体が何度も厚生労働省との交渉を重ね、日数上限の適用除外の対象を広げる通知が出されました。

現場の実態が反映されていない制度、貧困と格差が広がっている現状など、一人一人がその人らしく社会のなかで生活していくためには、制度自身を良くしていくことが必要で、一緒に声をあげれば、政治を変えることができることも実感しました。

とは言え、議員になろうとは考えてもいませんで

したが、上司から「対象が患者・利用者さんだけでなく、区民という範囲に変わるだけ。いま、やっていることの基本は変わらない」との言葉に、8年間働いた病院を退職し、中野区議会議員選挙に立候補。初当選以降、2019年4月、3期目の当選をさせていただき現在に至っています。

一番大切にしていることは当事者の声です。特別養護老人ホームに入れない、国民保険料が高すぎる等の医療や介護に関する声はもちろん、「危ない道路の凸凹を解消して」「中野駅にエレベーター設置を」「青信号の時間を延長し安心して横断歩道を渡れるようにして」等、さまざまな声が寄せられます。

リハビリテーションと同様、多職種でそれらの問題解決にあたり、また、中野区の施策で不十分な課題も浮き彫りになるため、それを政策に反映させ、議会での質問に活かし改善を求めています。

リハビリテーションの理念が政治のなかで当たり前になったら、必ず政治は良くなります。これからも、そのために力を尽くしていきます。

「医療福祉eチャンネル」新番組紹介 <http://www.ch774.com>

講師：遠藤慶子氏、他

国境を越える医療交流と平和への動き  
(医療福祉施設経営事例研究)

医療や介護の分野において、国際交流、貢献が活発になってきました。日本式医療ツーリズム(インバウンドとアウトバウンド)に期待が寄せられ、日本式モデルの輸出、人材育成の動きが本格化しています。本講座ではダイナミックな国際情勢を検証し、医療ツーリズム、平和の道を考えます。(全13回配信)

◀ 第1回「ポートランド(米国)における高齢者ケア」

医療・福祉の動画配信サイト

医療福祉 eチャンネル

☎ 0120-870-774 (前9:00~後5:00/土・日・祝を除く)

E-mail: [info@iryofukushi.com](mailto:info@iryofukushi.com) URL: <http://www.ch774.com>



少し前のことになりますが、活版印刷 TOKYO というイベントに行きました。

活版印刷でつくられた品々だけでなく紙や編集作業に使うものも販売。活版印刷体験コーナーもあるなど、思いのほか充実したイベントでした。これは面白いと思ったのが「紙の神経衰弱」。材質の違う白紙で作られたカードを手で触ってペアを作っていくというもの。似たような手触りの紙もあり、難しいのだとか。編集スタッフでやったら盛り上がるのだろうなと思いつつも、意外に高価だったため購入を断念。一緒に行った同僚は、ひらがな・英数から好きな活字を選んでそれを判子に加工してもらえるとというものに惹かれ、名前の判子を作っていました。私が買ったものはというと…。

朱色に塗りつぶされたところに、白抜きの文字で大きく「校了」と書かれたポストカード。編集に携わる者の一番好きな言葉をポストカードにするとは！ 今回もなんとかこの日を迎えることができました。

(機関誌編集委員会・編集スタッフ)

本誌に関するご意見、お問い合わせがございましたら下記までご連絡ください。

E-mail [kikanshi@jaot.or.jp](mailto:kikanshi@jaot.or.jp)

#### ■ 2018 年度の確定組織率

64.9% (会員数 58,234 名 / 有資格者数 89,724 名<sup>\*</sup>)

<sup>\*</sup> 2019 年度は会員数がまだ確定していないため組織率の算定ができません。当協会の最新の組織率としては、理事会の承認を得て確定した 2018 年度の会員数に基づくこの数値をご利用ください。

#### ■ 2019 年 10 月 1 日現在の作業療法士

有資格者数 94,255 名<sup>\*</sup>

会員数 61,860 名

社員数 210 名

認定作業療法士数 1,038 名

専門作業療法士数 (延べ人数) 112 名

#### ■ 2019 年度の養成校数等

養成校数 193 校 (202 課程)

入学定員 7,650 名

<sup>\*</sup> 有資格者数の数値は、過去の国家試験合格者数を単純に累計した数に、本会が把握し得た限りでの外国で取得した免許から日本国免許へ切り換えた者に加え、死亡退会者数 (230 名) を除いた数として示していますが、免許証の未登録、取り消し、本会が把握し得ない死亡その他の理由による消除の結果生じた減数分は算入されていません。

#### 日本作業療法士協会誌 (毎月 1 回発行)

第 92 号 2019 年 11 月 15 日発行

□ 広報部 機関誌編集委員会

委員長：香山 明美

委員：岡本 宏二、磯野 弘司、野崎 智仁、岡村 忠弘、米井 浩太郎、浅倉 恵子、山口 理貴

編集スタッフ：宮井 恵次、大胡 陽子、谷津 光宏

表紙デザイン：渡辺美知子デザイン室 / 制作・印刷：株式会社サンワ

発行所 〒111-0042 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル

一般社団法人 日本作業療法士協会 (TEL.03-5826-7871 FAX.03-5826-7872)

■ 協会ホームページアドレス <http://www.jaot.or.jp/>

□ 求人広告：1/4 頁 1 万 3 千円 (賛助会員は割引あり)



1966年9月 日本作業療法士協会 発会式での記念写真より

## どうすれば、もっと。

日本で初めて、作業療法士の養成が  
始まったのは1963年のこと。

初めての国家試験は

1966年に行われ、誕生した

わずかな作業療法士が各地で

作業療法に取り組みました。

身体に障害がある人も、

精神に障害がある人も、

子どもから大人まで。

人が望んでいる生活を支援する

ために少しずつ着実に歩みを

進めてきました。

50年以上の時を経て、日本で

約9万人の作業療法士が

働くようになり、医療、保健、福祉、

教育、就労支援へと、期待される

活躍の場は広がっています。

どうすれば、もっと一人ひとりの

豊かな生活に役立てるのか。

今日も明日も、

よりよいあり方を追い求めながら、

作業療法士の挑戦は続きます。

